

資料－４

第32回 荒川太郎右衛門自然再生協議会
2012年9月29日

地下水位計・水位計設置箇所の新編 (案)

1. 今後の調査箇所 の提案 (総括)

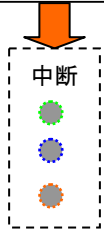
- 現在の機器には古くて欠測などのトラブルが多いものもあります。これまでの観測状況と今後の活用性を踏まえて重要な観測地点に絞って効率化をはかり、確実にデータを収集する体制を整えるため、12箇所を中断して3箇所を再開し、18箇所を観測する案を提案します。
- 3箇所の再開：旧流路は現在観測されていませんが、整備による変化が無いか確認するため、上中下の各1箇所の再開を提案します。

場所	観測所名	設置時の目的	現在の活用状況	今後の必要性	ページ
上池	No.1-1	上池掘削、ワンド・エコトーン帯掘削のモニタリング。	旧流路の地下水位の把握に活用している。	継続する。	11
	上-1	上池上流部のモニタリング、掘削およびワンド・エコトーン造成のモニタリング、No.1-1の対岸のモニタリング。	旧流路の地下水位の把握に活用している。	継続する。	11
	上-2	牧草地(雨水集水ルート)のモニタリング、本川河岸付近の地下水位動向調査。	「雨水集水ルート」が構想に無いため、活用されていない。	当初想定していた「雨水集水ルート」の実施予定が無いほか、河岸の水位確認の目的においては河川水位と同等であることが確認できたため中断する。	4
	上-3	上池下流部のモニタリング、ワンド・エコトーン帯掘削のモニタリング。	旧流路の地下水位の把握に活用している。(※掘削の予定は構想に無い)	継続する。	11
	試験地	試験地のモニタリング。	試験施工後の地下水位の把握に活用している。(※試験は終了している)	試験は終了しているため中断する。	5
	上池掘削地観測孔	試験地のモニタリング。	試験施工後の地下水位の把握に活用している。	試験地・整備地の生物モニタリングを継続中であり、今後周辺が施工される予定もあることから、継続する。	11
	池内	試験地のモニタリング。	試験池の水位の把握に活用している。		
	湿地上段 湿地下段	試験地のモニタリング。	試験施工後の地下水位の把握に活用している。(※生物のモニタリングは中断している)	生物モニタリングを中断している状況であるため、中断する。	6
中池	No.2-1	ワンド造成のモニタリング、河畔林保全再生エリアのモニタリング。	中池地区外縁～旧流路の中間地点の地下水位の把握に活用している。(※ワンド造成の予定は構想に無い)	継続する。	12
	中-1	ワンド造成のモニタリング、No.2-1の対岸	旧流路～本川の間地点の地下水位の把握に活用している。	継続する。	12
	中-2	広域的モニタリング(中池下流側、下池上流側の補足)。	中池・下池の地下水分布は他の地点で把握されているため、活用されていない。	中池水位とほぼ同等であるほか、中池地区の地下水分布は他の地点で把握されていることから、中断する。	7
	中-3	ワンド造成と河畔林保全のモニタリング。	中池地区外縁の地下水位の把握に活用している。	継続する。	12
	中-4	広域的モニタリング。	中池・下池の地下水分布は他の地点で把握されているため、活用されていない。	夏季に高い位置で推移する特異な地点であり、施策の参考とならないため中断する。	7
下池	No.3-1	ワンド造成の対岸、ハンノキの保全・再生のモニタリング、下流かさ上げのモニタリング。	下池旧流路近傍の地下水位の把握に活用している。(※ワンド造成・下流かさ上げの予定は構想に無い)	継続する。	13
	下-1	ハンノキ更新サイトの事前モニタリング。	下池地区外縁の地下水位の把握に活用している。	継続する。	13
	下-2	ワンド造成のモニタリング、ハンノキ更新サイトの事前モニタリング。	下池地区外縁～旧流路の中間地点の地下水位の把握に活用している。(※ワンド造成の予定は構想に無い)	継続する。	13
	下-3	下流かさ上げのモニタリング、No.3-1の対岸のモニタリング。	「下流かさ上げ」が構想に無いため、活用されていない。	当初想定していた「下流かさ上げ」の実施予定が無いため、中断する。	8
	下-4	旧流路～本川の間地点のモニタリング、湿地再生の掘削前後のモニタリング。	旧流路～本川の間地点の地下水位の把握に活用している。(※試験は終了している)湿地再生の予定は構想に無い)	継続する。	13
	下-5	ハンノキ移植試験サイト近傍の地下水位の把握。	ハンノキ生育と地下水位の関連が認められなかったため、活用されていない。	ハンノキ試験地の検証の主眼が密度効果に移り今後掘削する予定も無いことから、中断する。	9
	下-6	ハンノキ移植試験サイト近傍の地下水位の把握。	ハンノキ生育と地下水位の関連が認められなかったため、活用されていない。	ハンノキ試験地の検証の主眼が密度効果に移り今後掘削する予定も無いことから、中断する。	9
	下-7	下池周辺掘削の堤内地下水位への影響把握。	下池地区外縁の地下水位の把握に活用している。	継続する。	13
	ハ-1				
	ハ-2	ハンノキ試験地のモニタリング。	ハンノキ生育と地下水位の関連が認められなかったため、活用されていない。	ハンノキ試験地の検証の主眼が密度効果に移り今後掘削する予定も無いことから、中断する。	10
ハ-3					
堤内	堤内-1	堤内地のモニタリング。	堤内地の地下水位の把握に活用している。	継続する。	—
	堤内-2				
水面	上池水位				
	中池水位	旧流路の水位のモニタリング。	旧流路の水位の把握に活用している。	周辺の整備に伴って池の水位に変化が生じないか確認するため、各1箇所	—
	下池水位				

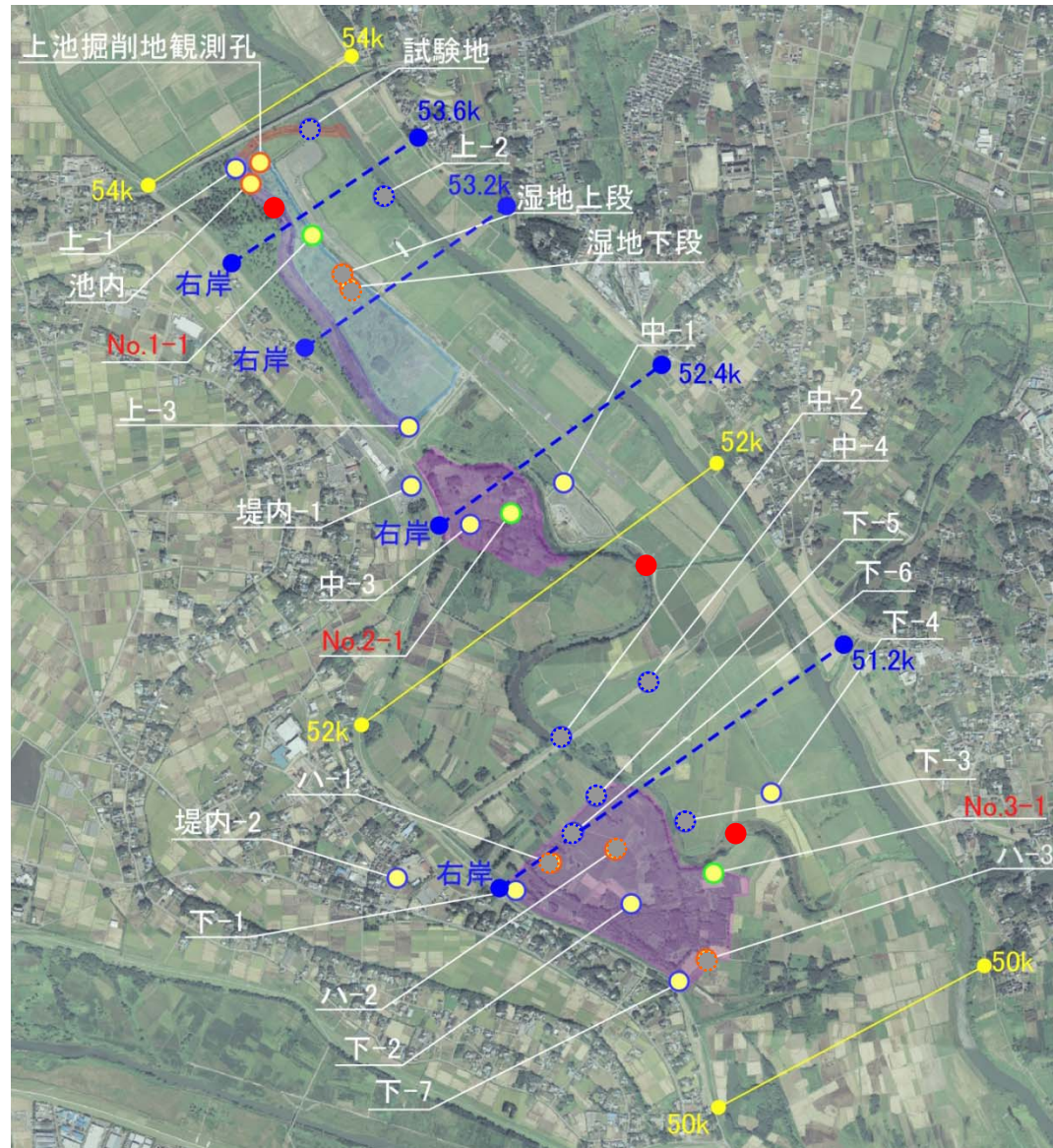
※塗りつぶしは中断を提案している箇所です。

1. 今後の調査箇所 の提案 (総括)

- 地下水位観測所(平成15年度～)
- 地下水位観測所(平成16年度～)
- 地下水位観測所(平成21年度～)
試験施工箇所



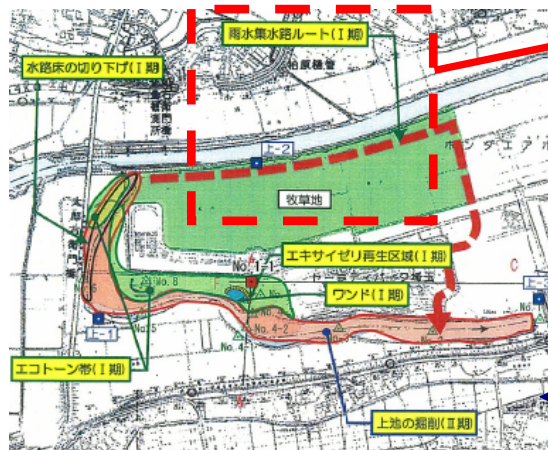
● 上池、中池、下池の深い場所
で水位を計測する
(平成25年度から再開)



2. 上池の中断観測箇所

1) 「上-2」

- 「上-2」は当初モニタリング目的として想定していた「雨水集水路」の実施予定が無いほか、河岸の水位確認の目的においては河川水位と同等であることが確認できたため、観測の中断を提案します。



「上-2」はこの「雨水集水路ルート」のモニタリングを目的としていましたが、これは現在は実施予定がありません。

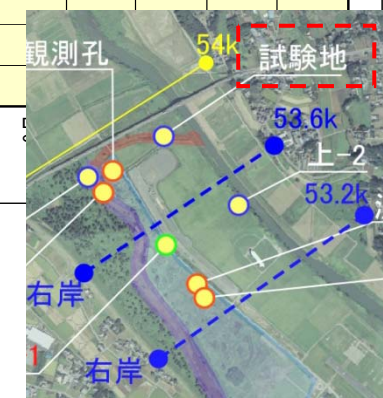
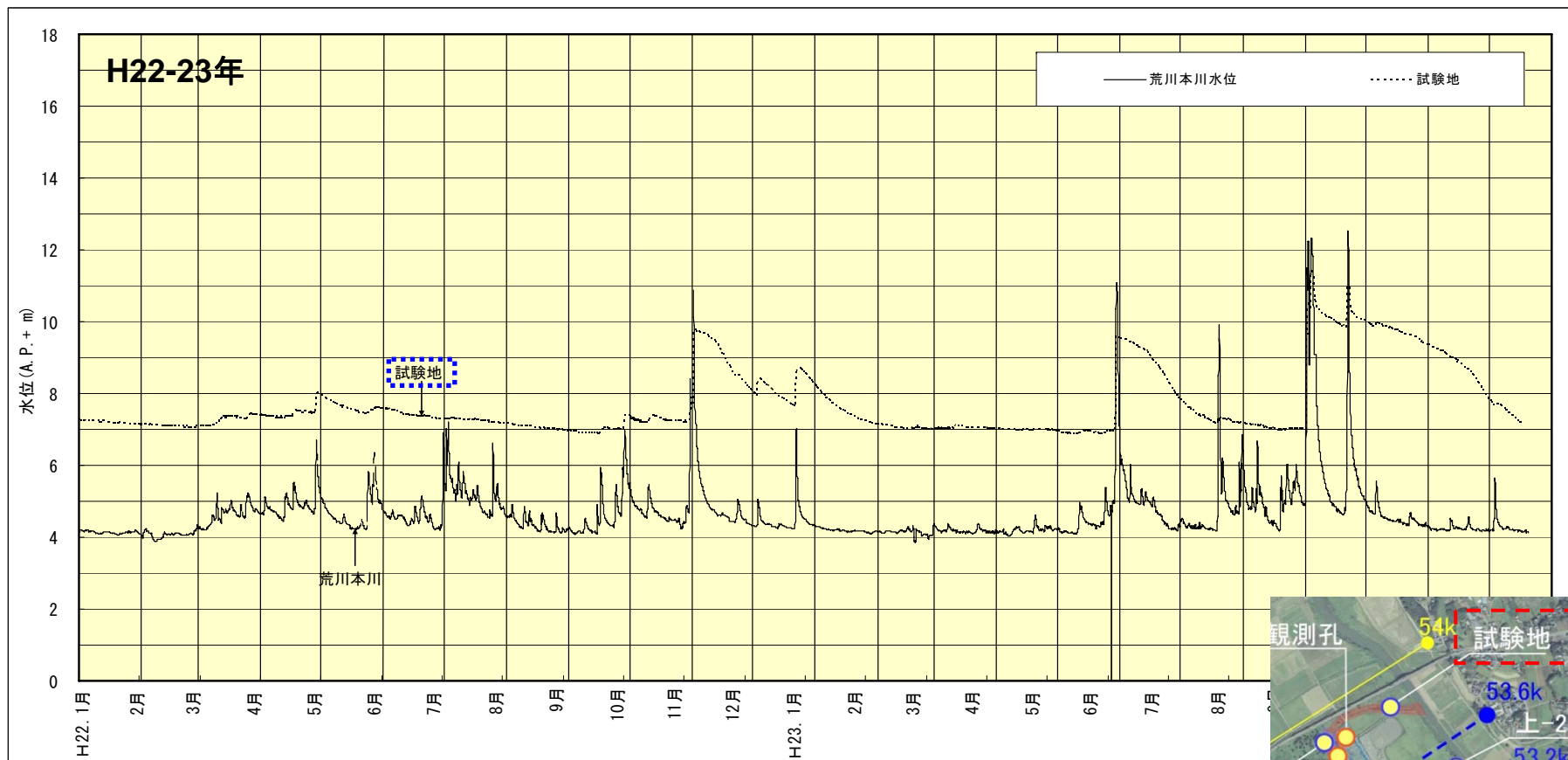
＜参考＞ 地下水位計設置時の考え方 (H16)



2. 上池の中断観測箇所

2) 「試験地」

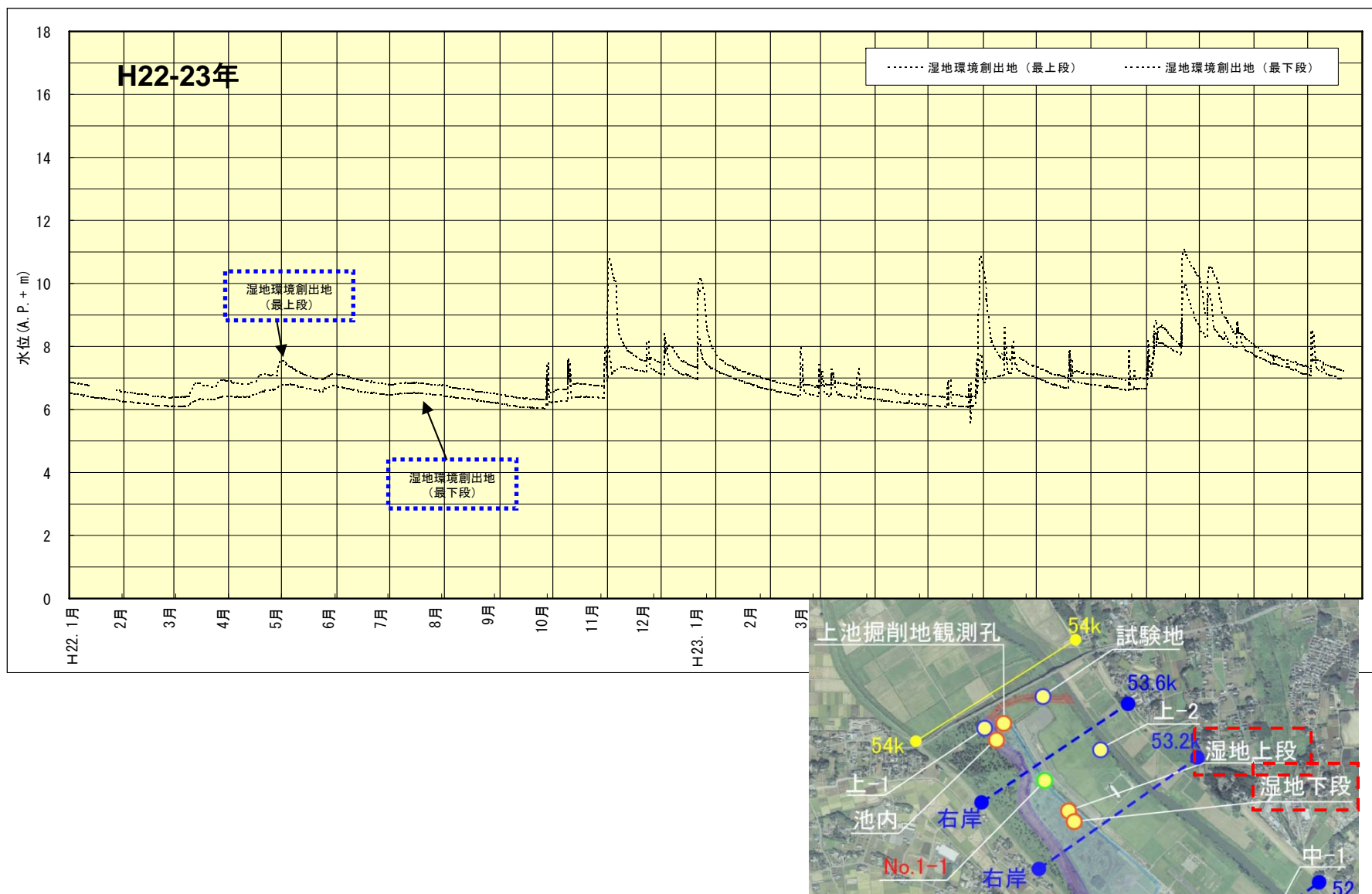
●「試験地」は試験の目的を達成しているため、観測の中断を提案します。



2. 上池の中断観測箇所

3) 「湿地環境創出試験池（最上段）」 「湿地環境創出試験池（最下段）」

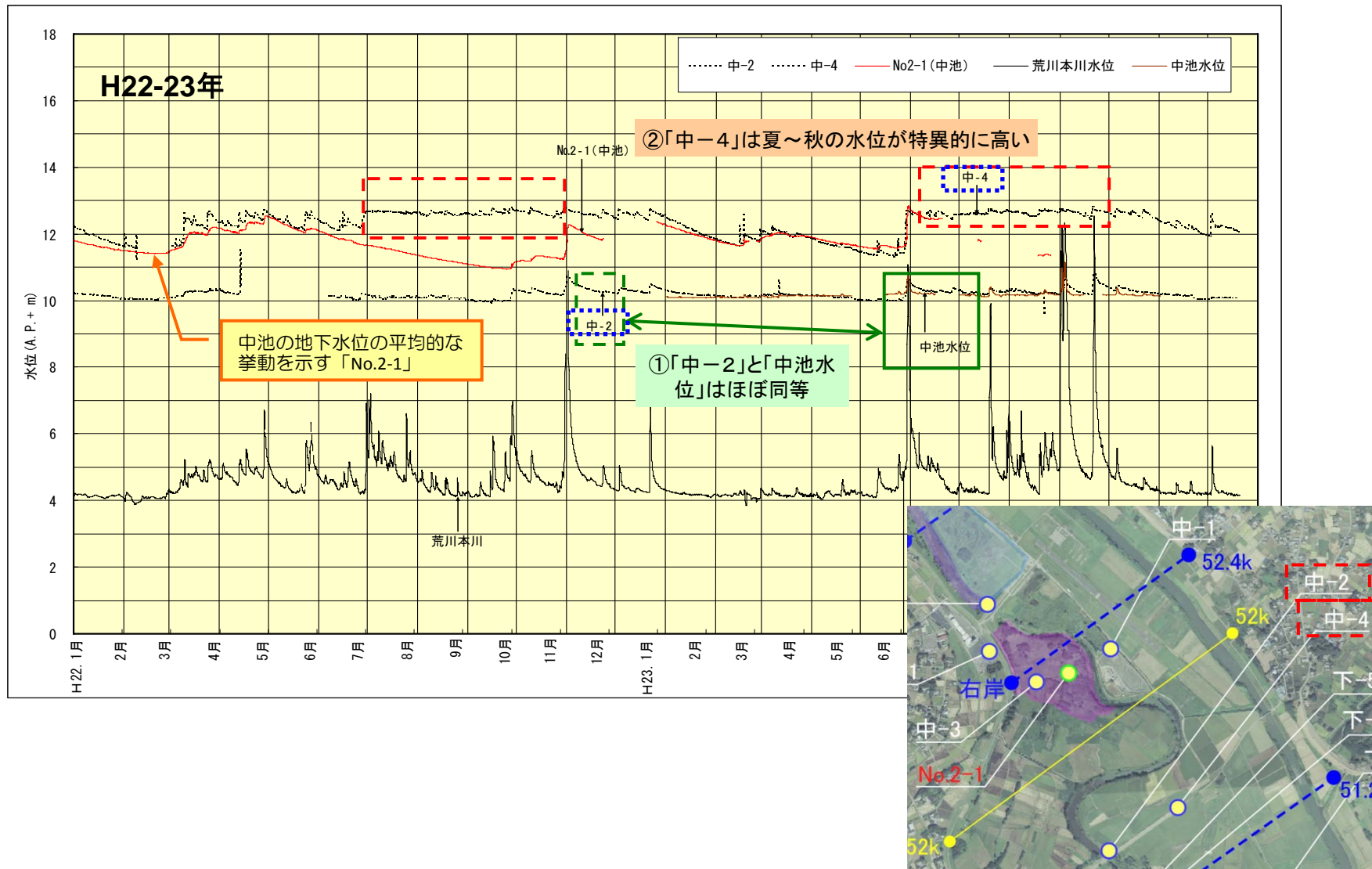
●「湿地環境創出地」は試験地の湿地化が認められず現在は生物のモニタリングを中断しているため、観測の中断を提案します。



3. 中池の中断観測箇所

●「中-2」「中-4」

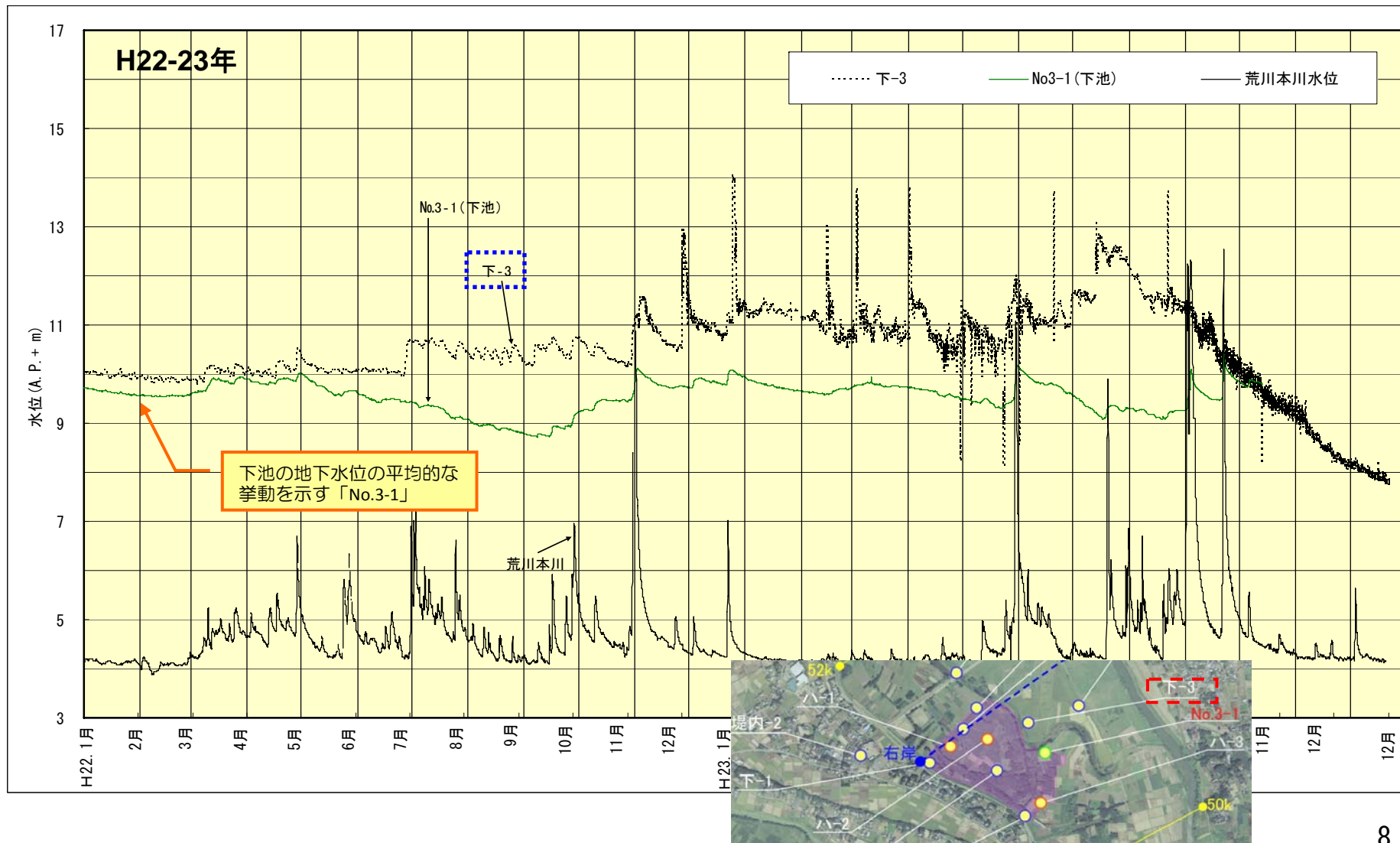
- 「中-2」は中池の水位とほぼ同等で地下水の情報として参考にならないため、観測の中断を提案します。・・・図の①
- 「中-4」は夏～秋に高い位置で推移する特異な地点で地下水の情報として参考にならず、当該地点周辺を整備対象とする予定も当面無いことから、観測の中断を提案します。・・・図の②



4. 下池の中断観測箇所

1) 「下-3」

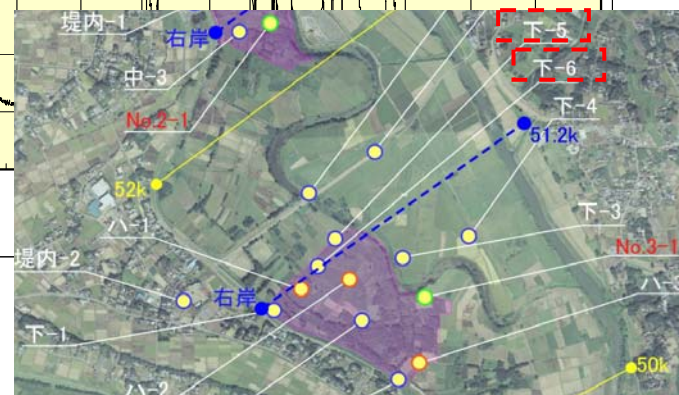
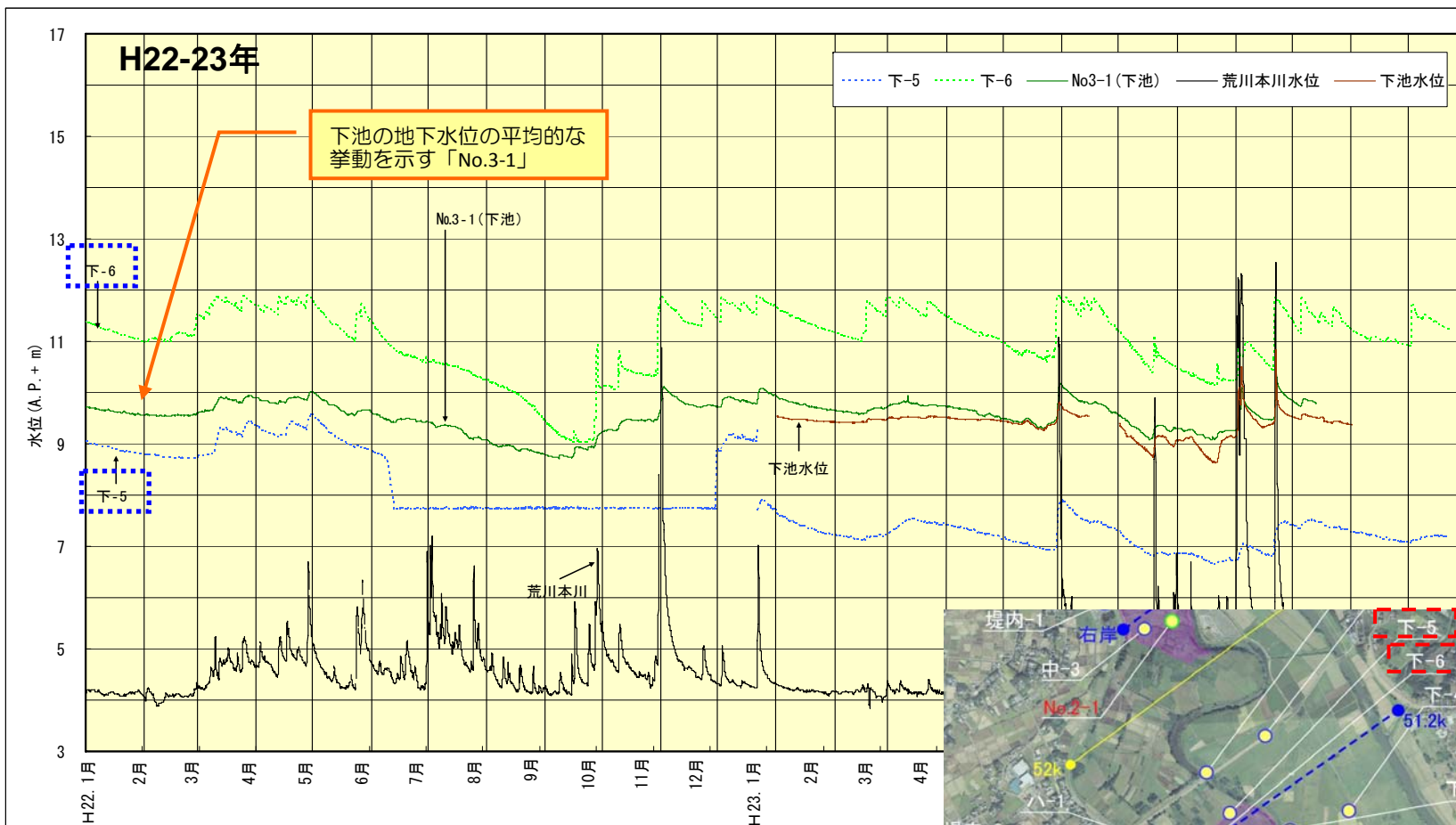
●「下-3」は、当初モニタリング目的として想定していた「下流かさ上げ」の実施予定が無いことから、観測の中断を提案します。



4. 下池の中断観測箇所

2) 「下-5」「下-6」

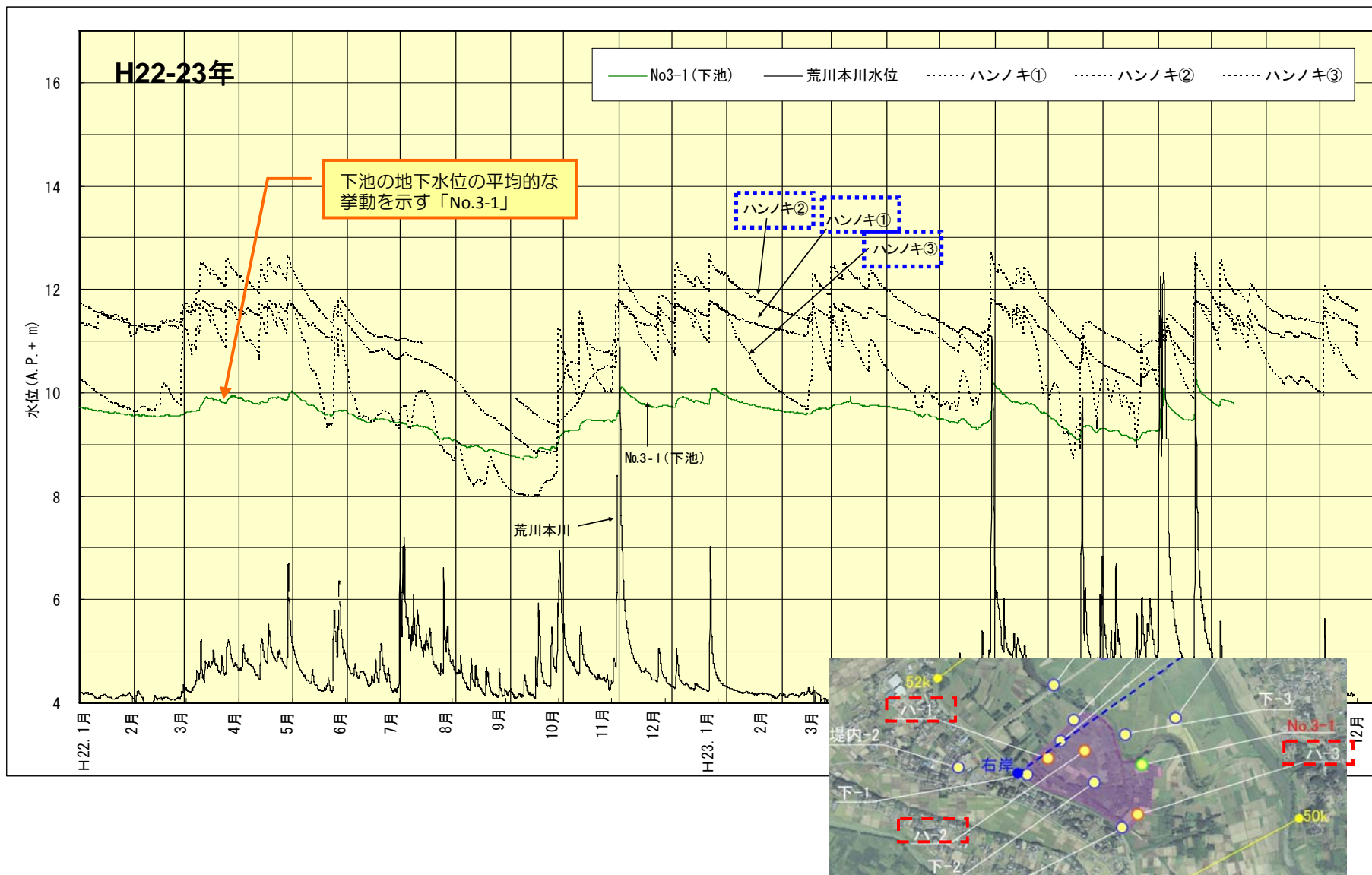
●「下-5」・「下-6」はモニタリング目的としていたハンノキ試験地の検証の主眼が密度効果に移り、今後掘削する予定も無いことから、観測の中断を提案します。



4. 下池の中断観測箇所

3) 「ハンノキ①」「ハンノキ②」「ハンノキ③」

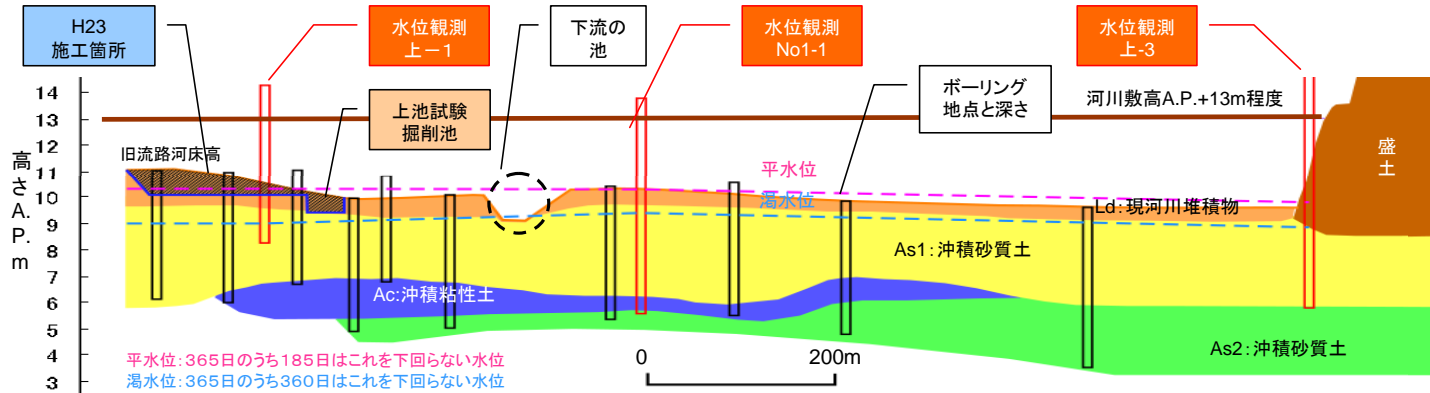
●ハンノキ試験地のハンノキ①、②、③は密度効果の検証に主眼が移っており、今後掘削する予定も無いことから、観測の中断を提案します。



参考. 上池の継続観測箇所

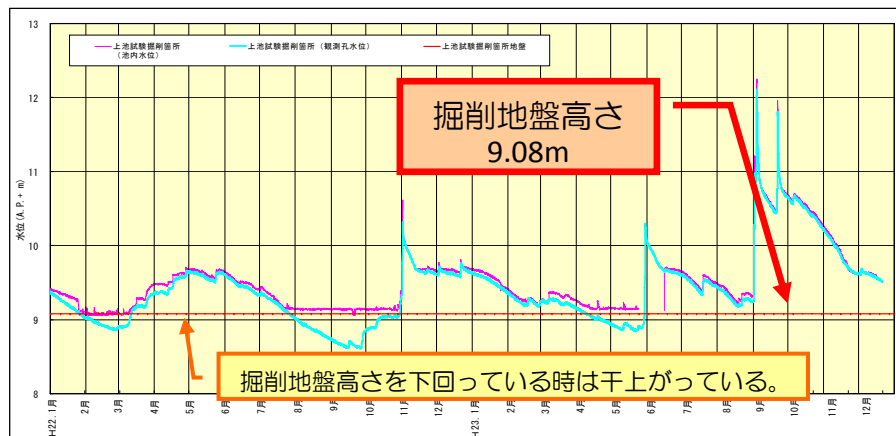
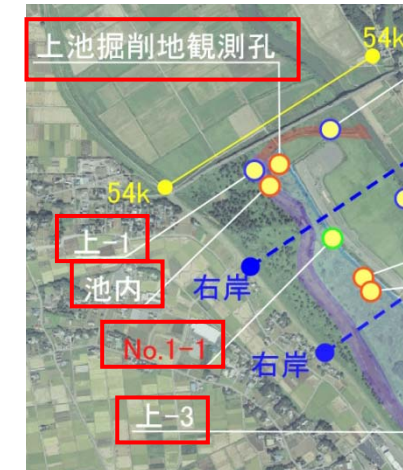
1) 「No.1-1」「上-1」「上-3」

●近年掘削した試験地・整備地を含む旧流路とその周辺の地下水位は、「No.1-1」「上-1」「上-3」で把握しており、これらは今後も観測を継続します。



2) 「上池試験掘削池（観測孔）」 「上池試験掘削池（池内）」

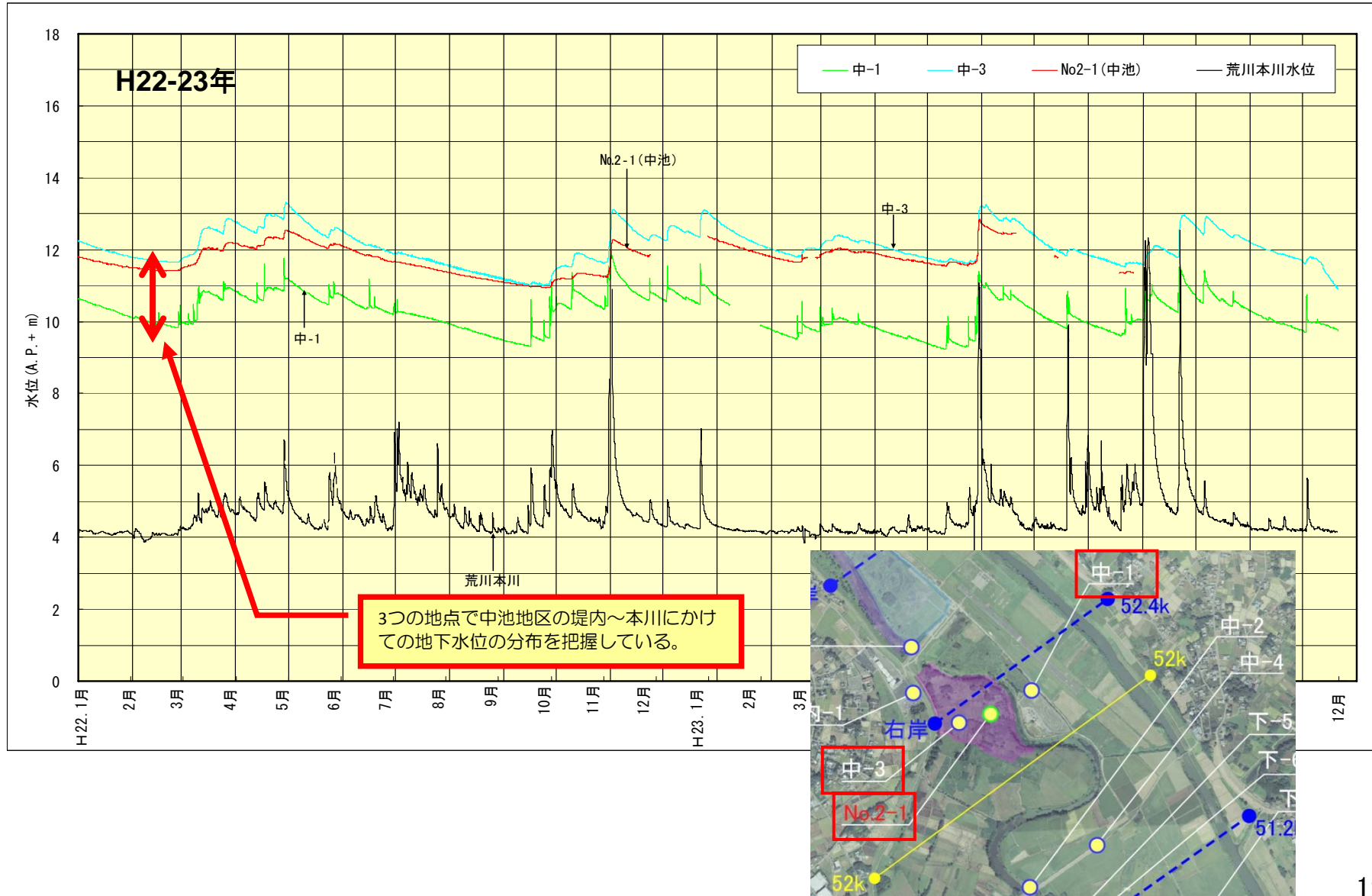
●「上池試験掘削池（観測孔）」 「上池試験掘削池（池内）」は、試験地・整備地の生物モニタリングを継続中であり、周辺が施工される予定もあることから、今後も観測を継続します。



参考. 中池の継続観測箇所

● 「No.2-1」「中-1」「中-3」

● 中池のプロフィールは、「No.2-1」「中-1」「中-3」により捉えられています。これらは今後も観測を継続します。



参考. 下池の継続観測箇所

● 「No.3-1」「下-1」「下-2」「下-4」「下-7」

● 下池のプロフィールは、「No.3-1」「下-1」「下-2」「下-4」「下-7」により捉えられています。これらは今後も観測を継続します。

